

「みえ産業振興戦略」の改訂に向けて

戦略改訂の必要性

（戦略策定とその後の経緯）

- リーマンショックにより、本県の産業が世界経済の影響を受けやすい構造であることが明らかになったことから、強じんでも多様な産業構造を構築していくために、平成24年7月、地域の成長戦略として「みえ産業振興戦略」を策定した。
- 成長産業の攻めの取組や本格的な人口減少への突入、伊勢志摩サミットの本県開催など外部環境の変化にいち早く対応するため、平成28年3月に「みえ産業振興戦略」を改訂した。

（社会経済情勢等の変化）

- その後も本県を取り巻く社会経済情勢は目まぐるしく変化している。例えば、世界規模で見ると、第4次産業革命の急速な進展、世界経済の不透明性や経済連携協定（EPA）の形成、保護主義の動き、また世界経済の中心が欧米からアジアへ移行する動き、自動車のEV化の加速など市場動向に大きな変化が見られる。国内や県内においても少子高齢化に伴う人口減少により、市場の縮小や人材不足が顕在化する一方、働き方改革やダイバーシティーの動きが進むなど「みえ産業振興戦略」策定時と比較すると大きな状況変化が生じている。

（戦略の改訂）

- これまで戦略に基づく産業政策を展開し、地域経済の活性化に向けた取組を進めてきたところであるが、こうした新たな社会経済情勢の変化に対応するため、平成30年度を目標に「みえ産業振興戦略」の改訂を行う。

戦略改訂の進め方

- 新たに「みえ産業振興戦略改訂小委員会（仮称）」を設置し、戦略改訂について議論
- 「みえ産業振興戦略改訂小委員会（仮称）」で検討した戦略改訂案をアドバイザーボードに提示 議論 ⇒ 戦略改訂案を策定

「みえ産業振興戦略改訂小委員会（仮称）」

本県を取り巻く社会経済情勢の変化等を「みえ産業振興戦略」の改訂に的確に反映させるため、新たに「働き方改革」「ダイバーシティー」「医療 介護」「ライフイノベーション」「中小企業・サービス」分野等において知見を有する有識者の参加も得て戦略の改訂案について議論を行う。

【小委員会委員候補者（案）】

- ・アドバイザーボード委員 <3名>
- ・働き方改革、ダイバーシティー、医療 介護 <1名>
- ・ライフイノベーション <1名>
- ・中小企業・サービス <1名>
- ・自動車関連産業 <1名>

戦略改訂に向けたスケジュール案

